

活動計画の概要

<ul style="list-style-type: none">活動内容を具体的にご記入ください § 記入のポイント § この活動の目的・内容・この活動を必要とする社会的な背景や課題、活動の日時・場所、参加予定者数等を箇条書きにしてください。特に子どもたちが参画する部分は詳しくお書きください。
<活動の目的>
<ul style="list-style-type: none">学校に行かない、行けない子どもが地域社会で生きる力を養う中山間地域の課題である「人離れ」問題に取り組み、地域の財産（ひと・もの）を活かすフリースクールの事業の一環として循環型社会づくりイベント「木のねっこふえす。」を開催し一般客を招致地域内外の人々と共に、福祉・教育・地域を越えたつながりを持つ地域発信し、「学習」、「経験」、「実践」の環境提供と支援を行う
<活動の内容>
<ul style="list-style-type: none">イベント開催場所である木のねっこログのウッドデッキに、風雪に耐えうる屋根を建設DIYワークショップを開催し、建築講師の指導のもと、子どもやその保護者、スクール支援者に参加してもらい、屋根材の色塗りや木材切断、ビス打ちなどを行う。これにより、自ら創造する経験の場を提供する。屋根のできたウッドデッキで、子どもたちや関係者の出店、ダンス発表などを行うイベント「木のねっこふえす。」を開催。
<この活動を必要とする社会的な背景や課題>
<ul style="list-style-type: none">学校に行かない・行けない子どもが地域社会で生きていくために自分の得意を活かす技術や経験、学習を積むための異世代・地域交流の機会がないという課題多種多様な生き方をしている大人と子どもが交流する場所の必要性 ↓ 地域イベントを開催し、地域内外、多世代の人や他のフリースクール、教育・福祉の枠を越えた方々との交流の場づくり（個別相談ブース、座談会など）中山間地域の店や工房、宝となる人材を発掘・アピールし、地域の人・物の活性化（過疎化問題対策）
<活動の日時>
準備期間 2018年5月21日(月)～9月20日(木)
イベント当日 2018年9月21日(金)～9月24日(祝月) 10時～15時
<場所>
広島県山県郡北広島町都志見 木のねっこログ
<参加予定者数>
準備期間：40名、イベント参加者：200名
<活動のメリット>
<ul style="list-style-type: none">自らの力で、既存のウッドデッキに風雪に耐えうる屋根（風雪に耐える点が今回の企画を象徴）を試行錯誤しながら創作することを通じて、学校に行かない・行けない子どもが、自分らしくあるために経験を積み、自らの足で立って歩き、前進していくことを促す。そうした子どもが、心身ともに健全で自分らしさを発揮し、社会で生きていく力を養うことができる。この創作する屋根が付いたウッドデッキでは、福祉・教育・地域を越えた幅広い人々とのつながりを持ちながら、個性豊かな循環型社会づくりのためのイベント（※「木のねっこふえす。」会場として、定期的に利用していく。 <p>※「木のねっこふえす。」</p> <ul style="list-style-type: none">子どもたちが自ら出店。自分で企画し、作り、売ることによって仕組みを知る。人との交流の機会ができる。自分の力が自分でよくわかる。試行錯誤で次につながる意欲や自信がもて、将来の自立につながる地域内外や他のフリースクール、ホームスクーラー、市民団体、多様な社会人との実践的な関わり、異職業間交流、情報交換の場所となる。「ひと」「もの」が循環するので、一人一人が大事にされ、必要なものが必要な人に届き、得意なこと好きなこと、創造性を発揮し、たくさんの人とつながり豊かな場所となる。活動の拡大により、当スクールだけでなく、全国のフリースクールや地域協働のモデルとして事業の参考にすることができる。

・関係先があればご記入ください 共催・協賛・後援(名義後援)がある場合。また、協力・協働・連携関係にある団体・企業・行政・学識経験者などがある場合。団体名と関係の内容をご記入ください。

協力：島の自由な学校 うみかぜ学校（イベント出店協力）

[注] 必ず本用紙にまとめてご記入ください。(追加はA4サイズ1枚まで、別添資料での説明はご遠慮ください。)

活動目標および費用計画

(金額単位:千円)

主な活動目標	費用項目	全体予算		マツダ財団への申請	
		金額	内訳	金額	内訳
・「ひと」「もの」が循環する優しい地域をつくる ・子どもたちに、福祉・教育・地域を越えたつながりを持ってもらい、「学習」「経験」「実践」の場を提供する ・地域協働のモデルとして活動を広げる	講師謝礼 (含 交通費)	20	講師謝礼	20	同左
	アルバイト代 (含 交通費)	200	屋根建設謝礼		
	印刷費等 (ポスター、チラシ、看板等)				
	以外・リース料 (会場、備品、バス等)				
	その他				
	小計				
	備品費				
	出版費用				
	その他経費 (会議費、通信費等)	480	屋根材(資材、金属パネル)	480	同左
	合計	※1 700		※2 500	

[注1] 内訳欄に具体的な項目と金額をご記入ください。

[注2] ※1、※2は資金調達計画の※1、※2の金額とそれぞれ一致させてください。

資金調達計画

(金額単位:千円)

	金額	特記事項
予算総額	※1 700	
<調達内訳>		
マツダ財団支援金	※2 500	
寄付金(クラウドファンディング)	200	独自の応援プロジェクト

本活動について次の質問にお答えください。その他ご意見・ご希望等もご記入ください。

Q1 本活動は新しく手がけられる活動ですか?	() 新規活動 () 継続活動(回目) (○) 継続活動に新しい企画を追加・修正
Q2 新しい企画では、どこをどのように発展させておられますか?	イベント開催場所のウッドデッキに屋根を設置。DIYワークショップ開催。
Q3 今後の予定はどうでしょうか?	() 今年限りの単発 (○) 来年度以降も継続予定
Q4 マツダ財団の支援がない場合はどうされますか?	() 中止する (○) 規模を縮小して行う () 他に資金調達を図る
Q5 Q4で「他に資金調達を図る」と回答された場合、その方法はどのようなものですか?	(調達先、金額等)

【ご意見・ご希望】(本活動の訴求点、長期的展望、考慮してほしい事情などなど、何でもご自由にお書きください)

平成29年に、ひろしま里山未来博の補助金と、有志からの寄付金により、イベント「木のねっこふえす。」会場(北広島町)のウッドデッキを整備することができました。このウッドデッキには屋根が無いため、イベント当日は風雨をしのげず大変であり、また、場所が豪雪地帯にあるため、劣化の進行も早いものがあります。

このイベントを継続し、更なる充実を図るために、屋根の建設を心より望んでいます。この屋根を、子どもたちが、保護者や周囲の大人たちと協力して築くことができれば、これに勝る喜びはありません。

団体プロフィール

団体名	特定非営利活動法人フリースクール木のねっこ	代表者名	田上 美由紀
結成の時期	平成（西暦 2012）24年 8月		
団体を構成している上部組織	（該当する場合ご記入ください）		
結成の目的 活動方針	<p>子どもの学びの場の選択肢の1つであるフリースクールの運営事業を中心に、学校に行かない、行けない、またはフリースクールに通いたい子どもに対して、自然体験、アート、食農、個人の興味ある学びを深める活動を通して、こども自身が自ら育ち個性豊かに自己表現できる環境を提供。また、地域の方からの伝統継承、異世代間交流を行う。活動を通して社会の未来を担うこどもが生きる力を育み、心身共に健やかに成長し、社会で自立するための人間育成を推進し、地域の活性化に寄与することを目的とする。</p>		
活動内容 ・実績 <small>（具体的に記入ください この度応募された活動 との関連についても ご記入ください）</small>	<p>2012年8月母親たち中心に設立、翌年NPO法人化。</p> <p>2016年4月、通信制高校サポート校の木のねっこ高等学院設立。</p> <p>●活動内容</p> <p>①フリースクール事業（全日制） 月～木曜（祝日は除く）10時から15時。おおむね6歳から15歳の子ども対象。自然、アート、食育体験、本人のやりたい学びの支援をしている。 場所：安佐北区久地地区「はんぞうの家」、豊平地区「木のねっこログ」、木曜や野外活動の日（広島県内を中心に各所）</p> <p>②高等学院事業 2016年4月開校の「木のねっこ高等学院」は、福岡にある〈広域通信制高校〉明蓬館高校を本校とするヴィレッジ・サテライトキャンパス。フリースクールコースでは、主体的な経験や学びを深め、生きる根っこを育てる。 場所：安佐北区亀山</p> <p>②カウンセリング・アセスメント事業 子育てに関するワークショップ（当スタッフが企画・進行し、大人・親向けに行う） 個人カウンセリング</p> <p>③フリースクール体験 フリースクールに興味のあるこども、大人、親子対象。自然農米づくり農体験（芸北）</p> <p>④その他 ・生徒の保護者や会員（フリースクール男性ボランティアスタッフ）による地域の草刈。 ・年2回（春・秋）に循環型社会イベント「木のねっこふえす。」を開催。</p>		
年間の活動費 資金調達方法	総活動費用（2017年度〈予定〉） 約（445万円）	資金調達内訳（2017年度〈予定〉） 会費 約（15万円） 寄付金・助成金 約（130万円） その他（フリースクール事業） 約（300万円）	
構成メンバー	総人員（2018年1月現在）（47名）	内訳 小学生（15）、中学生（2）、高校生（ ） 大学生（ ）、成人女性（20）、成人男性（10）	
事務局連絡先 <small>（個人宅の場合は 「〇〇様方」と記載）</small> <small>（P.1の代表者と同じ 場合は記入不要）</small>	〒 -)	TEL	FAX
	担当者名前（団体での役職もご記入ください）	e-mail	

[注] 団体の活動をまとめた簡潔なパンフレットや最新年度の決算書類など、活動状況を表す資料があれば添付ください。（A4サイズ2枚まで）